

製品安全データシート

会社名 神戸合成株式会社
住所 小野市匠台10番地
担当部門 品質保証本部
担当者名 (作成者) 木下 浩伸
(改訂者) 種田 匠
電話番号 0794-64-7771 F A X 番号 0794-64-7772
作成 2004年 4月 5日
改訂 2010年 3月 27日

【製品名(化学名、商品名等)】 99000-79G58-212 メンテナンスクリーナー 220ml

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別: 混合製品

物質名	含有率	C A S No.	PRTR法No.
ポリフルオロエチレン系樹脂	2%~10%	非公開	非該当
ポリアルキルシロキサン	2%~10%	非公開	非該当
ポリエチレン	1%~6%	非公開	非該当
アニオン界面活性剤	1%~6%	非公開	※
研磨剤	1%~4%	非公開	非該当
プロピレングリコールエーテル	0.5%~2.5%	非公開	非該当
脂肪族溶剤	20%~50%	非公開	非該当
紫外線吸収剤	<1%	非公開	非該当
増粘剤	<1%	非公開	非該当
着色剤	<1%	非公開	非該当
香料	<1%	非公開	非該当
精製水	残部	7732-18-5	非該当
L P G (噴射剤)	3~30%	74-98-6	非該当
ジメチルエーテル (噴射剤)	2~25%	115-10-6	非該当

※モルホリンを1.7%含有 PRTR法No. 455(2010年4月からの移動放出量把握の際の番号です。)

国連分類: クラス2-1 (引火性高圧ガス)

国連番号: 1950 (引火性エアゾール)

【危険・有害性の分類】

分類の名称: 分類基準に該当しない。

危険性: 非危険物であるが、可燃性液体を含有しているため、火気に注意する。
高圧ガス保安法適用外であるが、高圧の可燃性ガスを含有するため、加熱や衝撃により、破裂する危険がある。

有害性: 吸入・飲用不可。健康に有害の恐れがある。

環境影響: 知見なし

【応急措置】

皮膚に付いた場合: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部位を多量の水で洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じた時は、医師の手当てを受ける。

眼に入った場合: 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。

吸入した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。

呼吸停止の場合は人工呼吸を行い、呼吸困難時には酸素吸入を行う。

誤飲した場合: 直ちに吐き出させ、医師の手当てを受ける。

【火災時の措置】

消火方法: 可燃性のものを周囲から素早く取り除き、指定の消火器を用いて風上から消火する。

消火器具: 炭酸ガス、泡、粉末消火器や乾燥砂等が有効

【漏出時の措置】

- ・風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。
- ・少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収する。
- ・大量の場合は、漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、できるだけ空容器に回収する。液が河川等に排出されないように注意する。

【取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い:
- ・適切な保護具を着用し、できるだけ風上で作業する。
 - ・高温物、火花等火気を避け、強酸化剤との接触を避ける。
 - ・眼、皮膚および衣類に触れないように注意して作業する。
 - ・容器を密封し、漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
 - ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
 - ・使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
 - ・出来るだけ、換気の良い場所で作業する。

- 保管 : ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
・ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
・酸化性物質。有機過酸化物など同一場所に置かない。
・酸化性物質、有機過酸化物など同一場所に置かない。
・その他、高圧ガス保安法、労働安全衛生法、消防法などの法令に定めるところに従う。
・子供の手の届かない場所に施錠して保管する。

【暴露防止措置】

- 管理濃度：規定なし
許容濃度：規定なし
設備対策：取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
取扱い場所は十分換気が取れるようにする。
保護具： 必要に応じ有毒ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

【物理／化学的性質】

- 原液
外観 : 淡青色粘性不透明液体 臭気 : 微臭
比重 : 0.89 沸点 : 100℃～
凝固点 : 0℃以下で凍結の恐れ 溶解度 : 水で希釈できる

【危険性情報(安定性・反応性)】

- 原液
引火点 : なし 発火点 : 知見無し

噴射剤
引火点 : -75℃ 発火点 : 500℃
爆発範囲 : 下限 2.3 v% 上限 7.3 %
安定性・反応性 : 安定 (高温時を除く)

【有害性情報】

- 急性毒性 : LD50 (マウス) 20 g/Kg 以上 (脂肪族溶剤として)
刺激性 : 蒸気は皮膚や粘膜を刺激する恐れがある。

【環境影響情報】

- 魚毒性 : 知見なし
分解性 : 知見なし
製品や洗浄水が、河川や排水溝に直接流れないように注意すること。

【廃棄上の注意】

- ・廃オートケミカル、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・容器、機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規にしたがって処理を行うか、委託すること。
- ・廃棄処理する場合には、ガスを完全に抜いた後に行う。
- ・個人で使用する場合の廃棄の際は、各市町村の条例に従い、中身を使い切ってから火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。

【輸送上の注意】

- 運搬に際しては容器に漏れもないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

【適用法令】

- 労働安全衛生法 : 危険物 (可燃性のガス)
通知対象物質含有
消防法 : 非危険物
高圧ガス保安法 : 適用除外項目に該当
PRTR法 : 該当物質を含有
船舶安全法 : 危険物 (高圧ガス)
航空法 : 危険物 (高圧ガス)

【その他】

- 引用文献 1) 毒劇物基準関係通知集 改訂増補版 厚生省薬務局安全監修薬務公報社 (1991)
2) 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版 化学工業日報社 (1992)
3) 13197の化学商品 化学工業日報社 (1997)
4) 溶剤ハンドブック 講談社 (1994)
5) 原料メーカーMSDS
6) 自動車用ケミカル製品の業界自主表示基準 オートケミカル工業会 (2001)
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。

[会社情報]

販売者：(株)スズキレピオ

所在地：北海道札幌市清田区美しが丘1条8丁目1-1

TEL:011-888-5255